

横須賀市立横須賀総合高等学校（全日制）グランドデザイン

◎ 横須賀市教育振興基本計画、横須賀総合高等学校のスクール・ミッション

横須賀の目指す教育の姿

“あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり”

◎ スクール・ポリシー

（学校教育目標）

一人一人の良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きる力に溢れた人間を育成する

～あたたかく、活力があり、愛し愛される学校～

◆ 育成を目指す資質・能力に関する方針《グラデュエーション・ポリシー》

（このような力を育てます）

- ・ 自立心・自律心と責任感
- ・ 自他ともに尊重できる心
- ・ 自己の将来の夢を真摯に見つめ努力する力
- ・ 勉学や特別活動に努力し、人格の完成を目指そうとする力
- ・ 創造性豊かな自分の考えを論理的に説明できる力
- ・ 国際的な視野をもった教養と語学力
- ・ 先進の情報コミュニケーション技術を駆使する力
- ・ 横須賀の良さを世界に発信する力

◆ 教育課程に関する方針《カリキュラム・ポリシー》

（このような教育活動を行います）

- ・ 総合学科の特色を生かし、個々の目標に沿ったキャリア教育（自己選択・自己責任）
- ・ 幅広い系列と選択科目から主体的に選択し、個々の夢の実現に相応しい時間割
- ・ 「産業社会と人間」で、自己と社会理解、将来の生き方や進路についての考察
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、生徒が学びの主体となる授業
- ・ 誰もが参加しやすい授業（インクルーシブ教育の視点）
- ・ 各科目等の学習内容を関連付けたカリキュラム・マネジメントに基づいた授業
- ・ 「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現させる授業
- ・ 地域に根付いた、横須賀の良さを再認識できる活動
- ・ ユネスコスクール、ESD、SDGsに関する組織的な取組

◆ 入学者の受け入れに関する方針《アドミッション・ポリシー》

（このような生徒を待っています）

- ・ 自分の夢や目標実現等、高い目的意識をもっている（もとうとする）生徒
- ・ 自分の可能性を信じ、より意欲的に努力を続けられる生徒
- ・ 他者を大切にできる生徒
- ・ 横須賀の良さを再確認し、世界に伝えようという意欲のある生徒
- ・ 授業以外の教育活動にも積極的に取り組み、根気強く頑張れる生徒

◎ 横須賀総合高等学校（全日制） 令和6年度の指導の重点

1. 「産業社会と人間」及び「羅針（総合的な探究の時間）」の充実を図る
 - ・ 探究のプロセスである「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」を生徒に徹底して教授する。
 - ・ 生徒の学習の途中経過を把握し、現状分析や原因究明等の弱点を指摘する。
 - ・ 生徒に弱点を指摘した際には、前の段階に戻って調査すること等を指導する。

2. 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る
 - ・ 各教科指導において、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を行うための教材研究及び授業実践を行い、教員間で相互に研修することを充実させる。
 - ・ 効果的なICT機器の活用を研究・実践し、その成果を教員間で情報交換する。
 - ・ ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度を育成する。

3. 理解と共感のある生徒指導により人権教育の推進を図る
 - ・ 人権に関する知識的側面を能動的に学習できる活動を実践する。
 - ・ 人権感覚を養うために価値的・態度的側面と技能的側面の学習活動を実践する。
 - ・ これらの学習活動は、各教科の授業、特別活動、総合的な探究の時間、学校行事、部活動等のあらゆる教育活動において実践する。

横須賀市立横須賀総合高等学校（定時制） グランドデザイン

◎ 横須賀市教育振興基本計画、横須賀総合高等学校のスクール・ミッション

横須賀の目指す教育の姿

“あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり”

◎ スクール・ポリシー

（学校教育目標）

一人一人の良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きる力に溢れた人間を育成する

～あたたかく、活力があり、愛し愛される学校～

◆ 育成を目指す資質・能力に関する方針《グラデュエーション・ポリシー》

（このような力を育てます）

- ・ 自立心・自律心と責任感
- ・ 自他ともに尊重できる心
- ・ 自己の将来の夢を真摯に見つめ努力する力
- ・ 勉学や特別活動に努力し、人格の完成を目指そうとする力
- ・ 創造性豊かな自分の考えを論理的に説明できる力
- ・ 国際的な視野をもった教養と語学力
- ・ 先進の情報コミュニケーション技術を駆使する力
- ・ 横須賀の良さを世界に発信する力

◆ 教育課程に関する方針《カリキュラム・ポリシー》

（このような教育活動を行います）

- ・ 総合学科の特色を生かし、個々の目標に沿ったキャリア教育（自己選択・自己責任）
- ・ 幅広い系列と選択科目から主体的に選択し、個々の夢の実現に相応しい時間割
- ・ 「産業社会と人間」で、自己と社会理解、将来の生き方や進路についての考察
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、生徒が学びの主体となる授業
- ・ 誰もが参加しやすい授業（インクルーシブ教育の視点）
- ・ 各科目等の学習内容を関連付けたカリキュラム・マネジメントに基づいた授業
- ・ 「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現させる授業
- ・ 地域に根付いた、横須賀の良さを再認識できる活動
- ・ ユネスコスクール、ESD、SDGsに関する組織的な取組

◆ 入学者の受け入れに関する方針《アドミッション・ポリシー》

（このような生徒を待っています）

- ・ 自分の夢や目標実現等、高い目的意識をもっている（もとうとする）生徒
- ・ 自分の可能性を信じ、より意欲的に努力を続けられる生徒
- ・ 他者を大切にできる生徒
- ・ 横須賀の良さを再確認し、世界に伝えようという意欲のある生徒
- ・ 授業以外の教育活動にも積極的に取り組み、根気強く頑張れる生徒

◎ 横須賀総合高等学校（定時制） 令和6年度の指導の重点

1. 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」「職業と進路」の充実を図る
 - ・ 探究のプロセスである「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」を生徒に徹底して教授する。
 - ・ 生徒の学習の途中経過を把握し、現状分析や原因究明等の弱点を指摘する。
 - ・ 生徒に弱点を指摘した際には、前の段階に戻って調査すること等を指導する。

2. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る
 - ・ 各教科指導において、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を行うための教材研究及び授業実践を行い、教員間で相互に研修することを充実させる。
 - ・ 効果的なICT機器の活用を研究・実践し、その成果を教員間で情報交換する。
 - ・ ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度を育成する。

3. 理解と共感のある生徒指導により人権教育の推進を図る
 - ・ 人権に関する知識的側面を能動的に学習できる活動を実践する。
 - ・ 人権感覚を養うために価値的・態度的側面と技能的側面の学習活動を実践する。
 - ・ これらの学習活動は、各教科の授業、特別活動、総合的な探究の時間、部活動等のあらゆる教育活動において実践する。